

2015

11

vol 33

NO. 392

昭和60年5月15日第3種郵便物許可 2015年11月10日発行(毎月1回10日発行) 通巻392号 ISSN 0916-8176

木材産業界のコミュニケーション

ウッドマイック

WOOD INDUSTRY & WOODWORKING MACHINERY INFORMATION CENTER



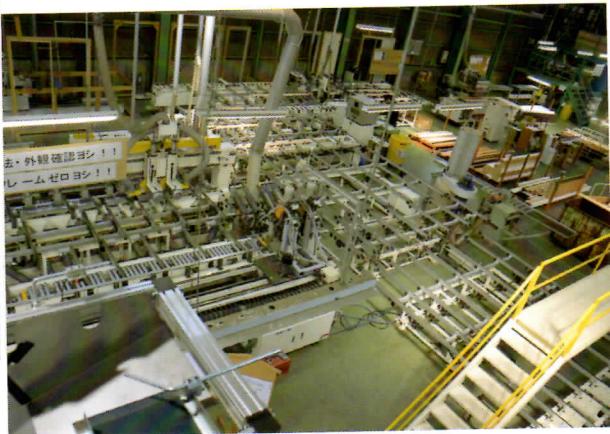
MOKKITEN
JAPAN 2015
特集

- ハイテクウッド名古屋(株)のIoTシステム導入の最新ドア枠生産工場
- 匠の技の伝統を紡ぎ続ける『2015飛騨の家具フェスティバル』
- 柏木工(株)の新ショールームオープンについて関道朗社長に聞く
- インドネシア通信 No.126「インドネシア人は凄い!」の巻／神谷典明
- 諸事雑感「あすなろ夢想い(75)」



<http://www.woodmic.com/>

WOODMIC



▲ライン前半。ラインの主力設備は(株)東洋鐵工所によるソフトとハードを採用、及び蝶番加工・ビス締め機は(株)オカベとのコラボによる枠材自動加工ライン

ドア等内装建材、介護福祉機器・事務用品、家具、羽柄材・集成材の生産販売を事業とするタック・ハイテクウッドグループ(竹内成豊CEO)は、国内外に15社・43拠点、社員数約1000人を有する。そのグループ中核を担うのが、製造部門の「ハイテクウッド秋田(株)」「ハイテクウッド名古屋(株)」、販売部門の「ハイテクウッド販売東北(株)」「ハイテクウッド販売中部(株)」、在庫・輸配送管理を「ハイテクウッド物流(株)」で、製造・販売・卸部門を兼ねる「ハイテクウッド名古屋(株)」、販売部門の「ハイテクウッド販売九州(株)」で、製造・販売・物流などを各社はそれぞれ特化して、専門性を高めている。

131-11166 工場に、新しくI O



▲ライン後半。枠部材は縦枠材、鴨居材と必要な加工を経て梱包ステーションへと集められ、物件ごとにセットされる

新しく完成した枠材加工ラインは、まずユーチャーからの注文製品情報が生産データに変換されて工場のパソコンからその情報がQRコードの記録ラベルとして出力されることから始まる。既に準備されているMDFに各種シートがラッピングされた枠部材は、作業者が丹念に目視で欠点がないかを丁寧に確認したうえで、パソコンから出力されるQRコードラベルを部材の決められた位置に貼つた後、部材両端の長さを正確に切断するクロスカットラインに投入される。加工ライン上のセンサーが、部材に貼られたQRコードから製品情報、加工情報を読み取り、製品ごとのサイズ情報を基づいてクロスカットソーでの加工を終えた枠部材は、統いてボーリング加工機に送られ施工穴、組み立て穴、鴨居の切欠き等がCAD情報に基づいて自動で加工され、梱包作業者の待つセクションへと送られて来る。

T(インターネットオブシングス)に対応した各種「枠材」生産ライン(総額約3億円)が完成した。QRコードに記録された生産データに基づき自動で部材加工が進められる10Tシステム

宮本輝男社長、☎053-434-1288)製で、スマートな部材の加工と搬送を見せてくれる。



▲枠部材投入。1人で枠部材料の目視検品をしながらパソコン情報からQRコードラベルを出力して1本1本の材料に手貼りしてラインへ投入する



▲次々と出力されるQRコードラベル。今は、1日200~300セット分のラベルが出力されるが、近いうちに400セット分を達成させたい

その製造部門の一翼を担うハイテクウッド名古屋(株)(愛知県愛西市本部田町狭場16番地、清水正博社長、☎0567-11166)工場に、新しくIO

自動梱包機は、テープですべての開口部をシールドした上で、同時に箱の3面に製品データシールが貼られ、その後梱包された製品は物流へと回される。

一連のソフトと加工機は浜松の(株)東洋鐵工所(静岡県浜松市東区大瀬町460、宮本輝男社長、☎053-434-1288)製で、スマートな部材の加工と搬送を見せてくれる。

8人の派遣社員が、8月1日から10月31日まで、合計5人で工場にて勤務を行なった。この期間は、主に機械の点検・保守作業を中心とした業務である。また、機械の故障修理や、新規機械の導入に関する技術支援も実施された。これらの活動により、工場の生産性向上と品質管理の強化が実現された。



「この機械は、私たちの生産工程において重要な役割を果たす存在です。しかし、定期的な点検や保守作業が怠られると、突然の故障が発生する可能性があります。そのため、毎日しっかりと点検を行い、問題が発生する前に修理する必要があります。また、新規機械の導入に関する技術支援も、工場の生産性向上と品質管理の強化につながります。」

「派遣社員の方々の技術力と実績が、工場の生産性向上と品質管理の強化につながりました。また、機械の定期点検や保守作業による故障予防によって、生産工程のスムーズ化が実現されました。」

「派遣社員の方々の技術力と実績が、工場の生産性向上と品質管理の強化につながりました。また、機械の定期点検や保守作業による故障予防によって、生産工程のスムーズ化が実現されました。」

■ 8月1日～10月31日までの期間、合計5人の派遣社員が工場にて勤務を行なった。この期間は、主に機械の点検・保守作業を中心とした業務である。また、機械の故障修理や、新規機械の導入に関する技術支援も実施された。これらの活動により、工場の生産性向上と品質管理の強化が実現された。

「この機械は、私たちの生産工程において重要な役割を果たす存在です。しかし、定期的な点検や保守作業が怠られると、突然の故障が発生する可能性があります。そのため、毎日しっかりと点検を行い、問題が発生する前に修理する必要があります。また、新規機械の導入に関する技術支援も、工場の生産性向上と品質管理の強化につながります。」

「派遣社員の方々の技術力と実績が、工場の生産性向上と品質管理の強化につながりました。また、機械の定期点検や保守作業による故障予防によって、生産工程のスムーズ化が実現されました。」

「派遣社員の方々の技術力と実績が、工場の生産性向上と品質管理の強化につながりました。また、機械の定期点検や保守作業による故障予防によって、生産工程のスムーズ化が実現されました。」

■ 8月1日～10月31日までの期間、合計5人の派遣社員が工場にて勤務を行なった。この期間は、主に機械の点検・保守作業を中心とした業務である。また、機械の故障修理や、新規機械の導入に関する技術支援も実施された。これらの活動により、工場の生産性向上と品質管理の強化が実現された。

「この機械は、私たちの生産工程において重要な役割を果たす存在です。しかし、定期的な点検や保守作業が怠られると、突然の故障が発生する可能性があります。そのため、毎日しっかりと点検を行い、問題が発生する前に修理する必要があります。また、新規機械の導入に関する技術支援も、工場の生産性向上と品質管理の強化につながります。」

「派遣社員の方々の技術力と実績が、工場の生産性向上と品質管理の強化につながりました。また、機械の定期点検や保守作業による故障予防によって、生産工程のスムーズ化が実現されました。」



■ 8月1日～10月31日までの期間、合計5人の派遣社員が工場にて勤務を行なった。この期間は、主に機械の点検・保守作業を中心とした業務である。また、機械の故障修理や、新規機械の導入に関する技術支援も実施された。これらの活動により、工場の生産性向上と品質管理の強化が実現された。

「この機械は、私たちの生産工程において重要な役割を果たす存在です。しかし、定期的な点検や保守作業が怠られると、突然の故障が発生する可能性があります。そのため、毎日しっかりと点検を行い、問題が発生する前に修理する必要があります。また、新規機械の導入に関する技術支援も、工場の生産性向上と品質管理の強化につながります。」

「派遣社員の方々の技術力と実績が、工場の生産性向上と品質管理の強化につながりました。また、機械の定期点検や保守作業による故障予防によって、生産工程のスムーズ化が実現されました。」

「派遣社員の方々の技術力と実績が、工場の生産性向上と品質管理の強化につながりました。また、機械の定期点検や保守作業による故障予防によって、生産工程のスムーズ化が実現されました。」

■ 8月1日～10月31日までの期間、合計5人の派遣社員が工場にて勤務を行なった。この期間は、主に機械の点検・保守作業を中心とした業務である。また、機械の故障修理や、新規機械の導入に関する技術支援も実施された。これらの活動により、工場の生産性向上と品質管理の強化が実現された。

「この機械は、私たちの生産工程において重要な役割を果たす存在です。しかし、定期的な点検や保守作業が怠られると、突然の故障が発生する可能性があります。そのため、毎日しっかりと点検を行い、問題が発生する前に修理する必要があります。また、新規機械の導入に関する技術支援も、工場の生産性向上と品質管理の強化につながります。」

「派遣社員の方々の技術力と実績が、工場の生産性向上と品質管理の強化につながりました。また、機械の定期点検や保守作業による故障予防によって、生産工程のスムーズ化が実現されました。」

「派遣社員の方々の技術力と実績が、工場の生産性向上と品質管理の強化につながりました。また、機械の定期点検や保守作業による故障予防によって、生産工程のスムーズ化が実現されました。」

【新宿ショールーム】



▲念願のショールームがオープン。ビジターを迎えるタック(株)の倉本和昌専務とハイテクウッド名古屋(株)の清水社長(エントランス)



◀新宿ショールームの吉崎さんは、持つタブレットには、独自のソフトが内蔵され、その場で顧客ニーズに適った収納家具プランのシミュレーションが行なえる。設計デザイン、価格見積もり、いずれ発注まで迅速に可能となるであろう



▲介護施設における特別室のご提案



▲液晶プライндを内蔵した「業界初」の見守りドア「MX」



▲電磁キーをドアに近づけると「半透明」の小窓が「透明」に。離れると、確実に「半透明」に切り替わり、スイッチの切り忘れの心配も不要だ



▲ドライバー



▲センターギャラリー



▲〈新製品〉システム収納 GRID(グリッド)、Shelf(シェルフ)

とがほぼセット替えなしで可能に。これは大手メーカーの苦手なところで、簡単に真似もできない。やっと、見て貰える、戦える工場になった」「近いうちに作業員3名で1日700セットを生産できる工場にしたい」と、清水社長は自信を見せた。

東京・新宿にショールームをグランドオープン デザインと質感を重視した「ティグラン」ブランドを展開

今年9月17日に東京都新宿区西新宿2丁目にある新宿NSビル25階に、予てより念願であった「新宿ショールーム」を開設した。

インテリアブランドTiGRAN(ティグラン)と、介護福祉事業「福介家(ふくすけや)」の複合ショールームである。

企画開発部の大宮千佳さんは、「ティグランは、これまで培ってきた内装建材の製造技術を生かし、高品質で高級感のある製品を適正価格で提供する新しいインテリアブランド」だと言う。

ティグランでは、従来の内装建材と比べて上質なデザイン・質感を追求し、戸建て・注文住宅・マンション・リノベーションなどアップバーミドル層向けのブランドとして、幅広い顧客ニーズに対応する。システム収納「GRID Shelf(グリッド シェルフ)」は、新宿ショールームオープンと同時に発売開始となり、インターネットから誰でも簡単にプランニング&価格算出ができるソフトも完備した。誰でも直線的に空間デザインが可能だ。

グループのケアサポート事業「福介家(ふくすけや)」では、介護に関わる全て

の建材・家具・備品・消耗品などを扱い、新宿ショールームでは、介護施設の特別室をイメージした空間展示を行ない、新製品システム収納「GRID Shelf」を用いた収納家具についても提案している。

介護施設向けの見守りドア「MX」は、不透明なガラス小窓が電磁スイッチをドアとして、高い評価を得ている。見える様子を確認することができ、先進機能の安心。見えない安心。プライバシーと安全を見守る、新しいカタチなのである。



▲左からタック(株)企画開発部の大宮さん、ハイテクウッド名古屋(株)の檜森課長、同・清水社長、(株)フジイの藤井会長